

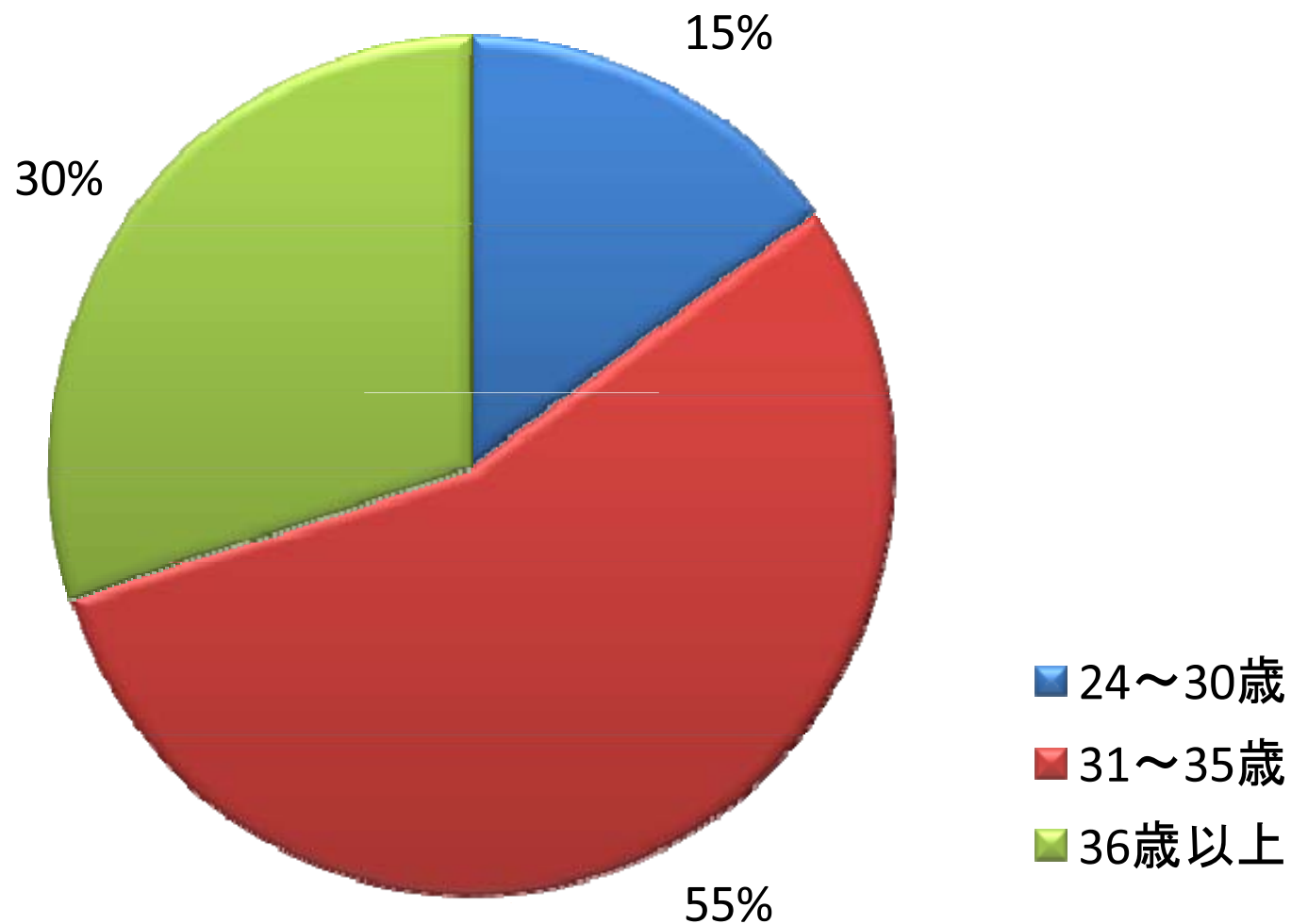
慶應義塾大学病院 院内保育園アンケート

三四会女性支援室
平成21年9月

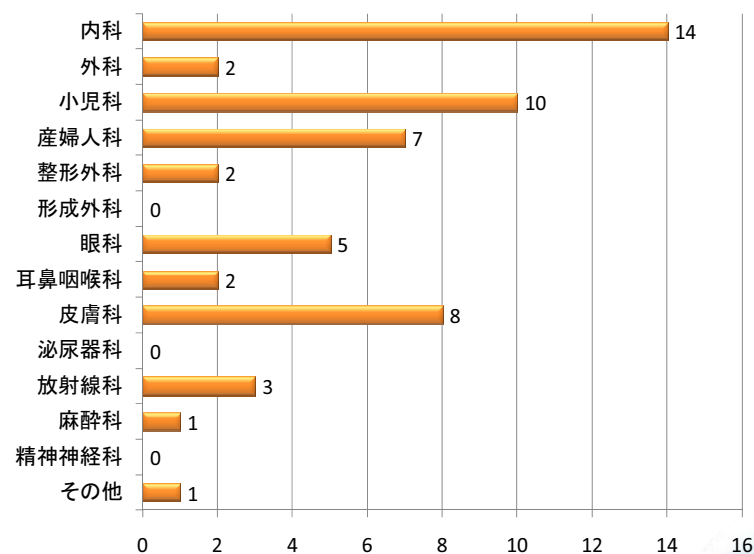
アンケート実施方法

1. 慶應義塾大学医学部在籍中の女性医師から、未就学児の母親もしくは妊娠中の107名を独自の調査により抽出した。
2. 女性医師支援委員会（保育園担当）が作成した無記名方式のアンケートを2009年6月に郵送した。
3. 回答者数55名（回答率51%）。内訳は、24～30歳、8名；31～35歳、30名；36歳以上、17名。

年齢層別回答者数の割合

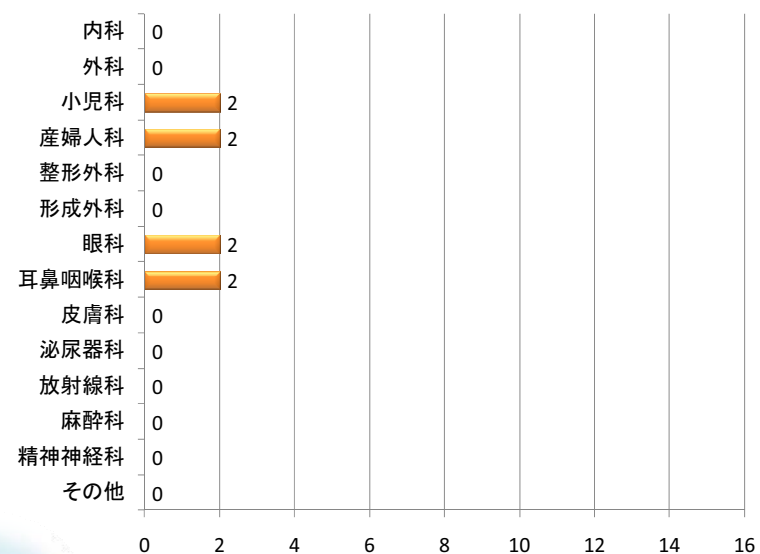


回答者の診療科



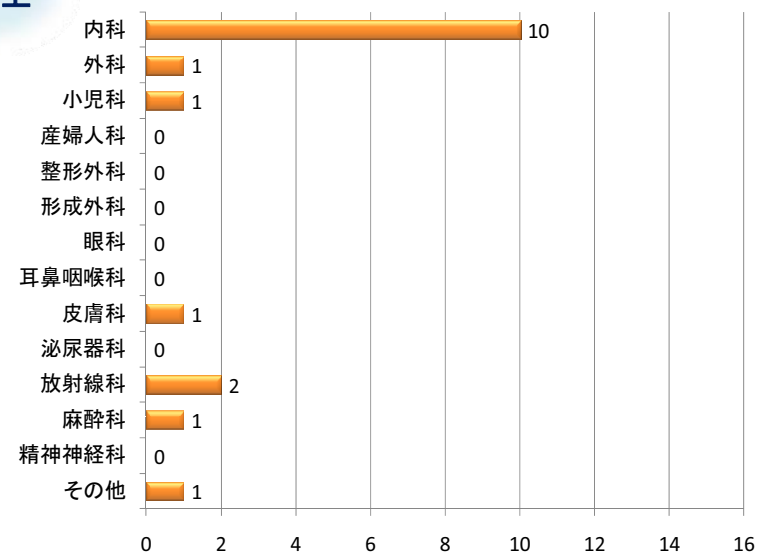
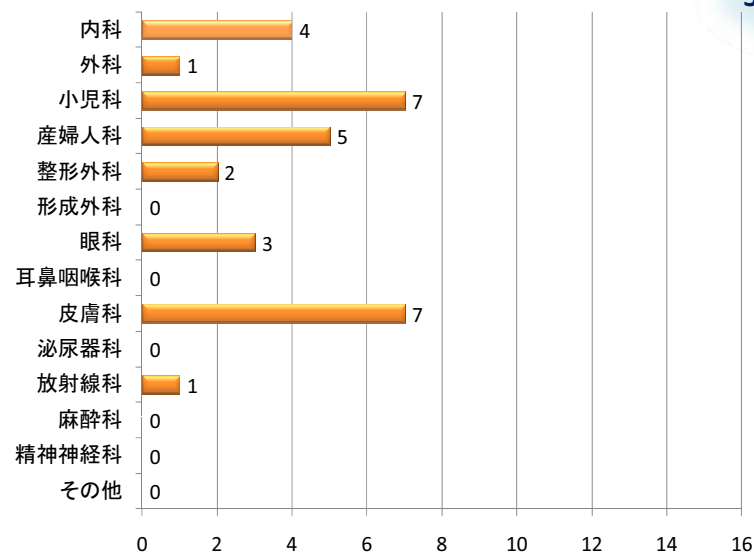
全体

24～30歳

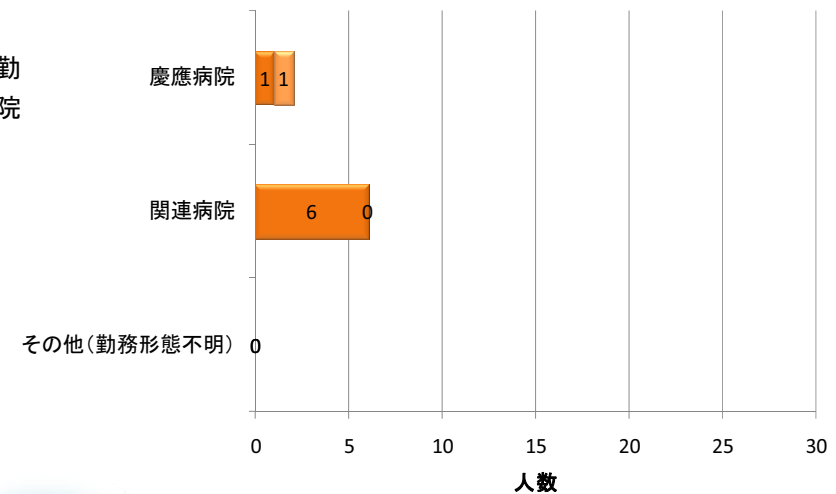
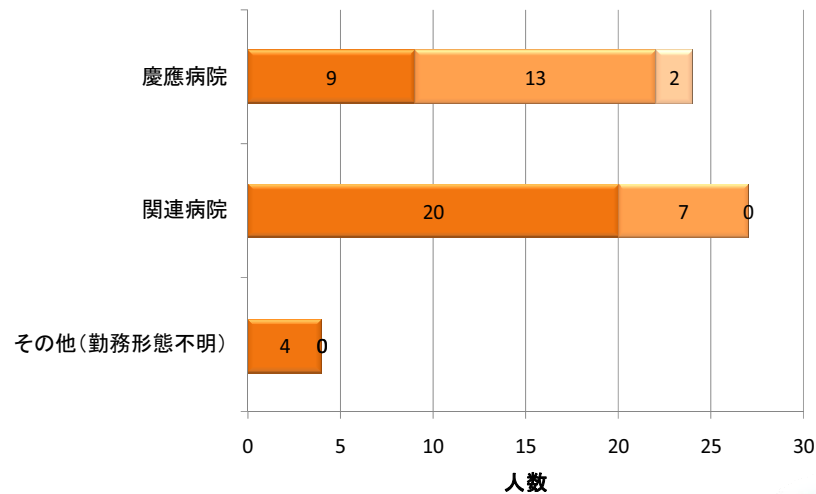


31～35歳

36歳以上

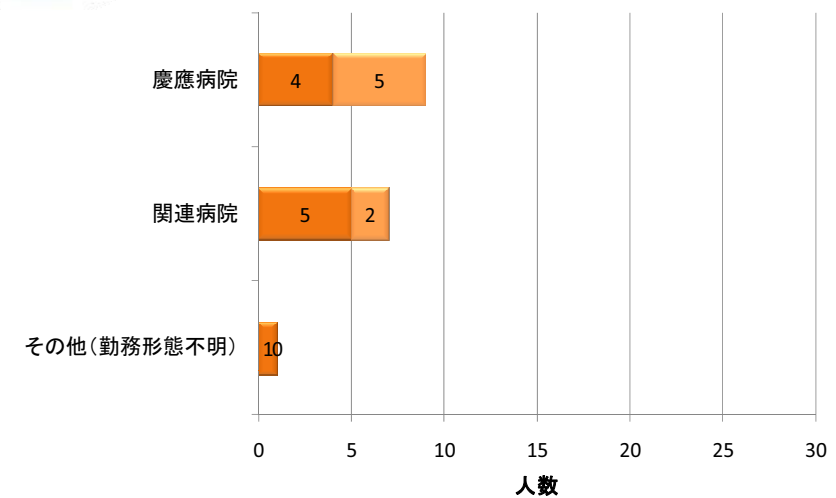
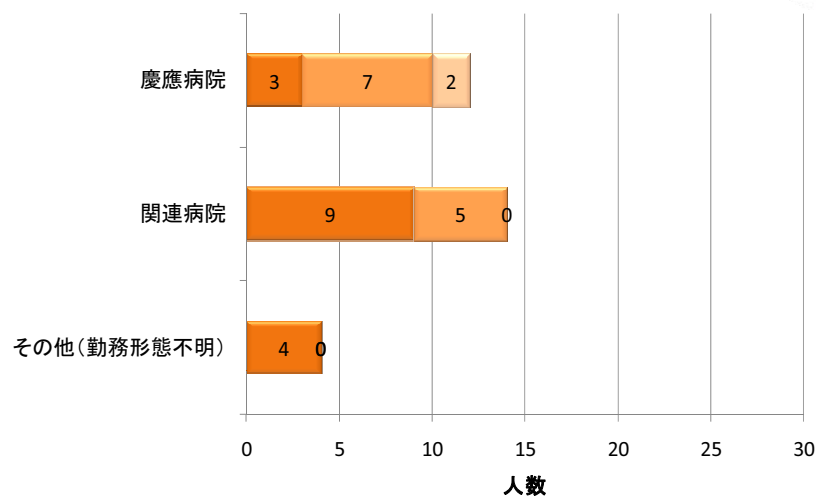


職場と勤務形態

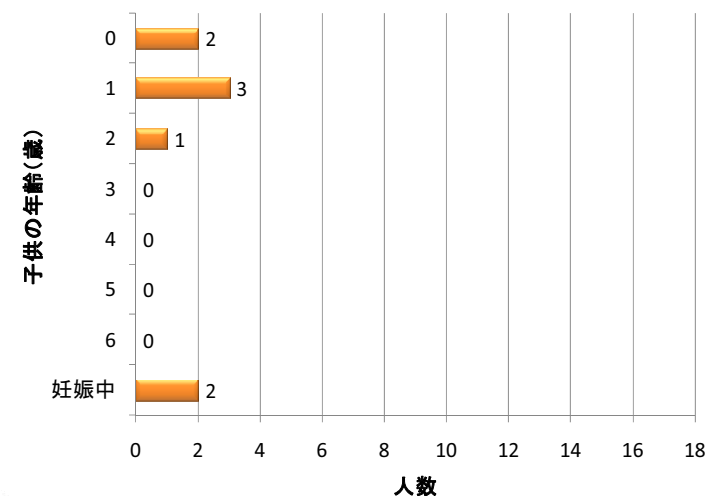
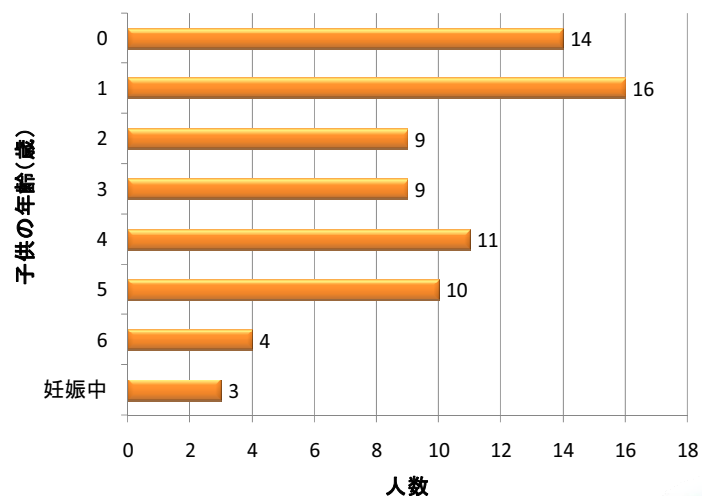


全体 24～30歳

31～35歳 36歳以上

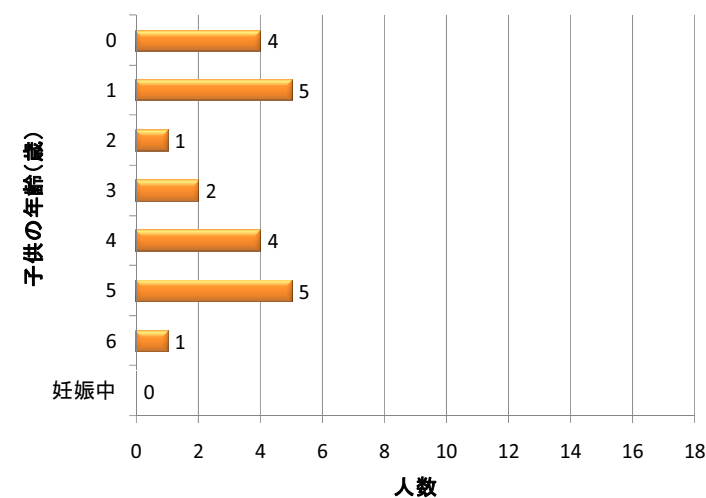
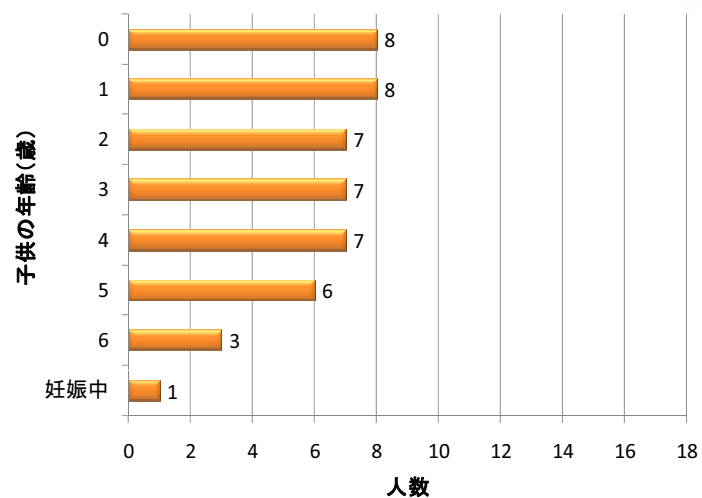


子供の年齢(複数回答)

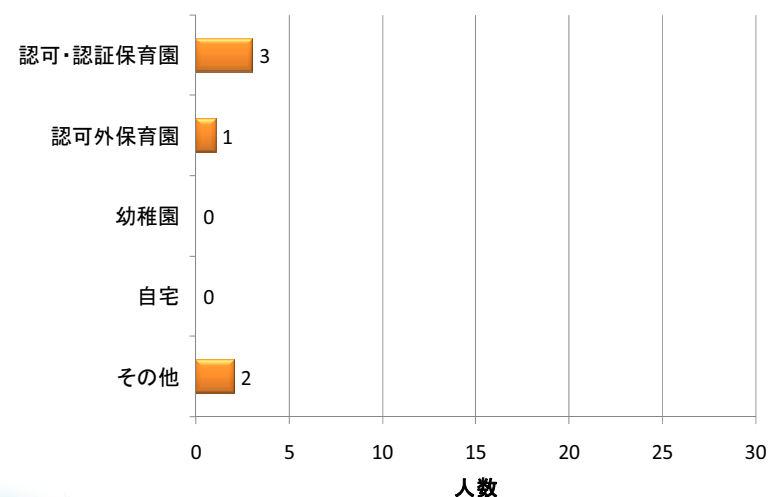
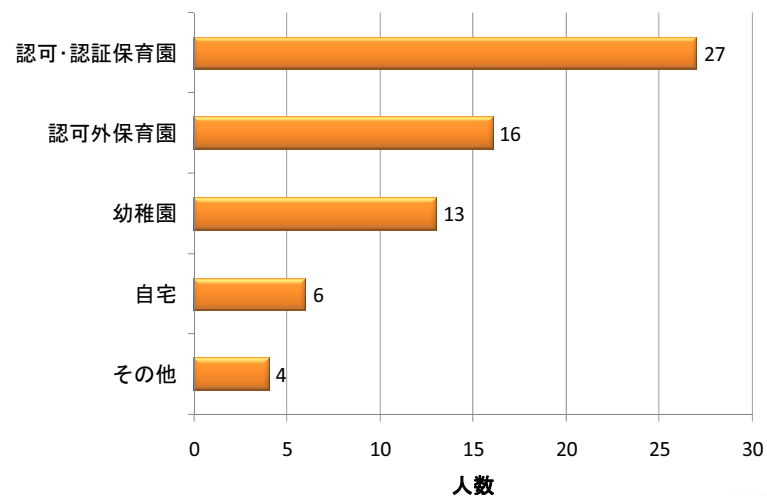


全体 24～30歳

31～35歳 36歳以上

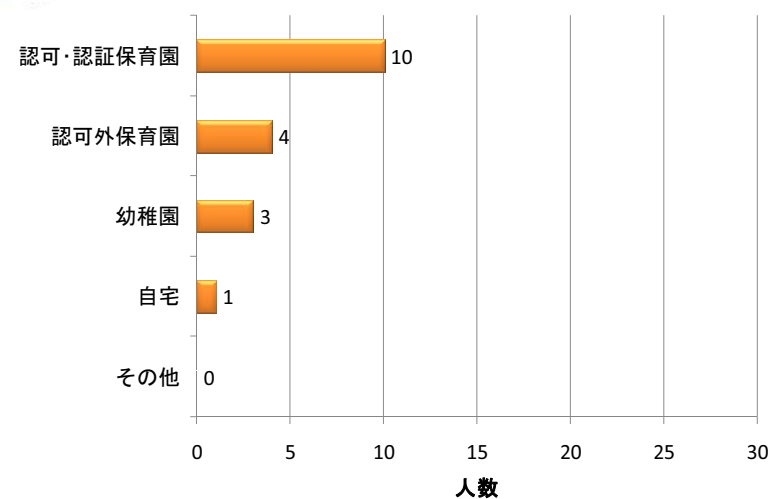
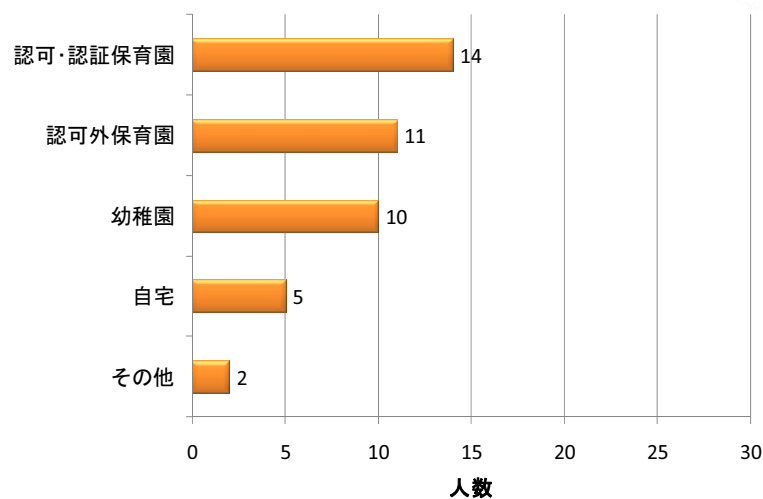


現在の保育場所（複数回答）

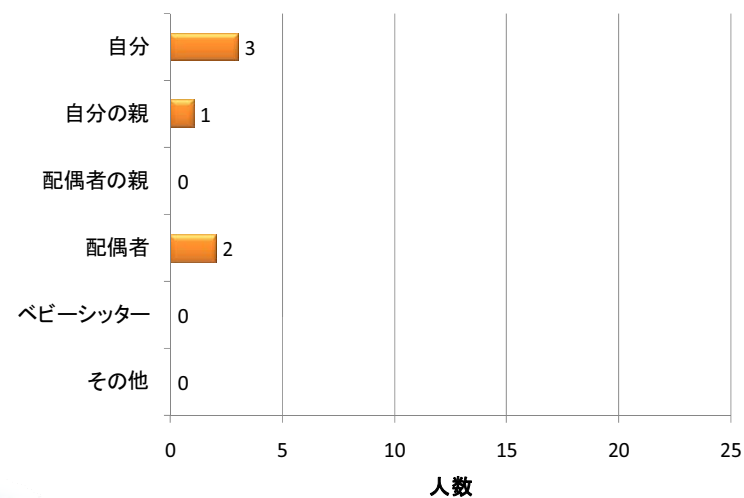
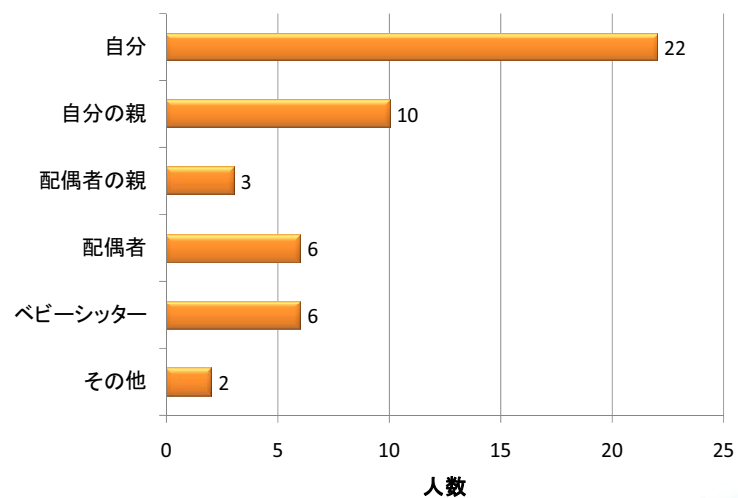


全体 24～30歳

31～35歳 36歳以上

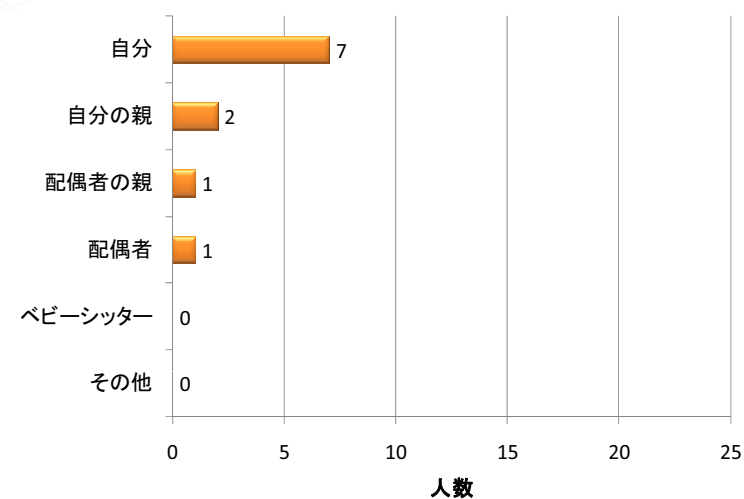
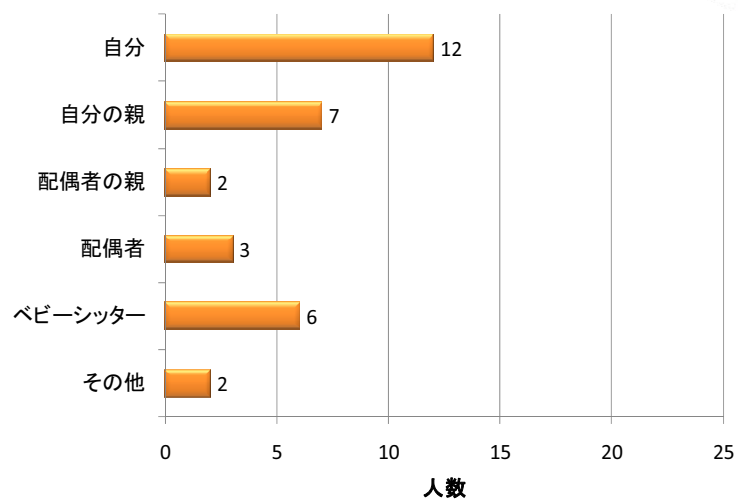


自宅保育の場合の保育者

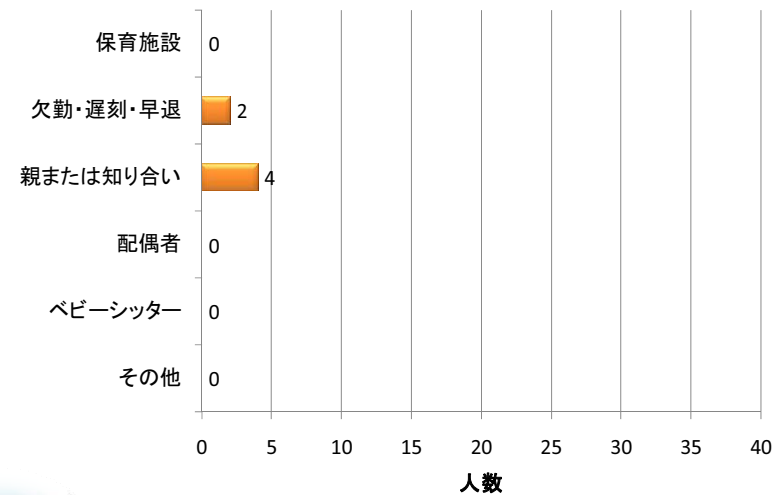
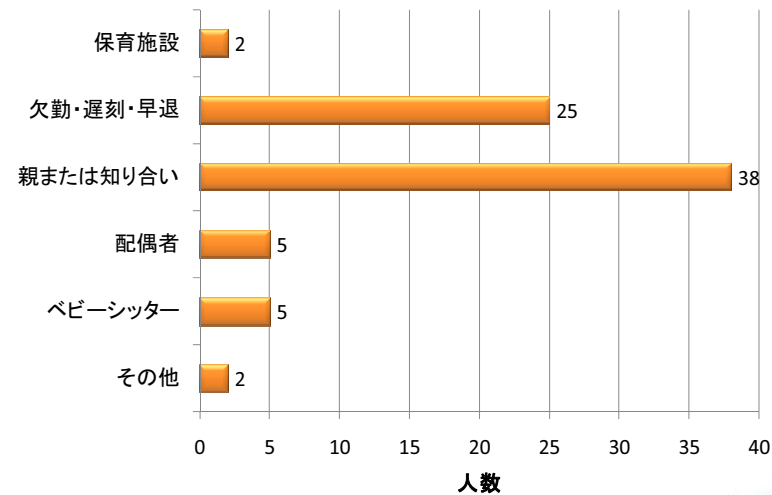


全体 24～30歳

31～35歳 36歳以上

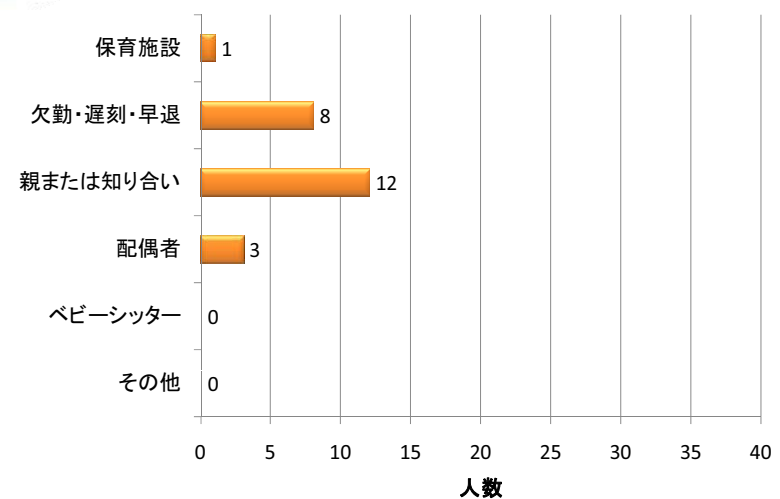
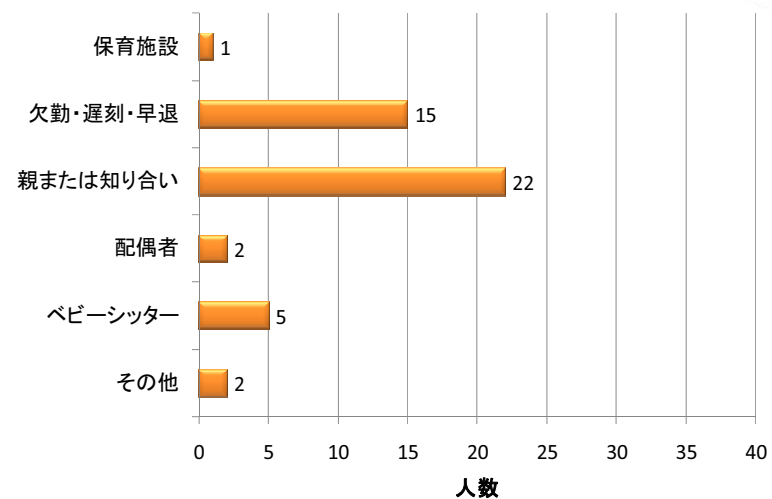


子供が病気の場合の対応

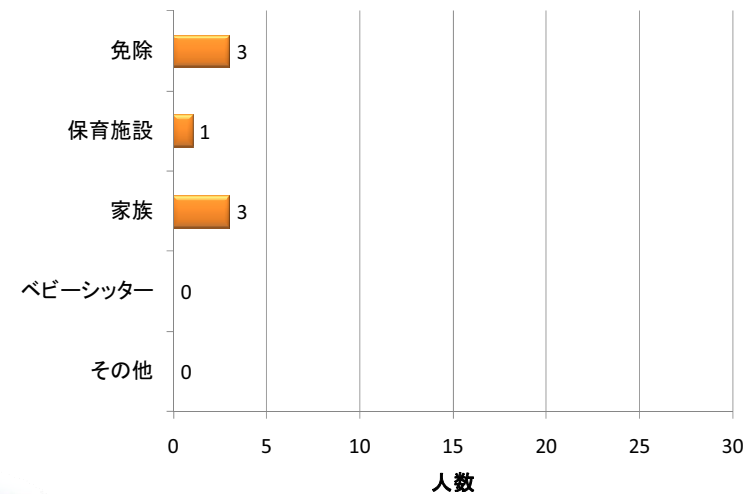
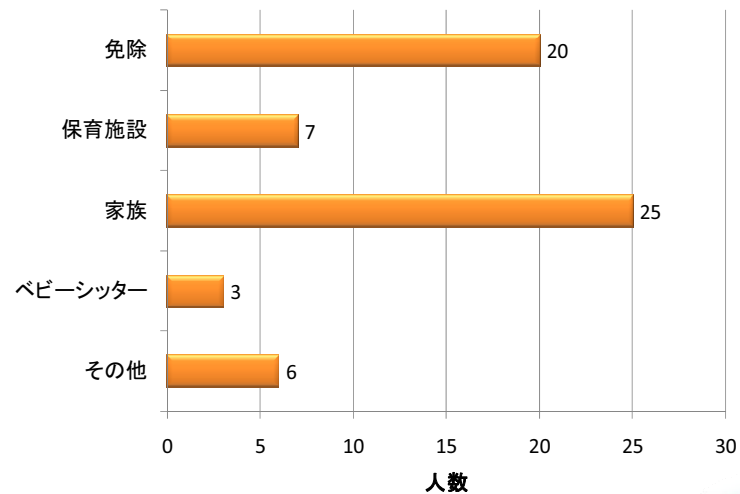


全体 24～30歳

31～35歳 36歳以上

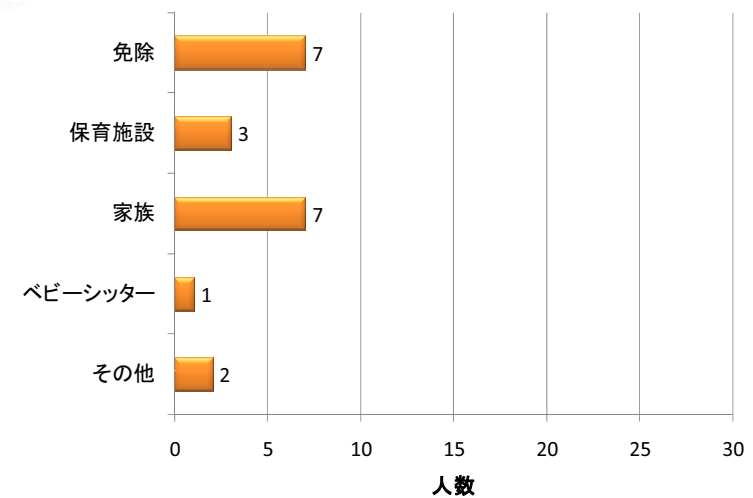
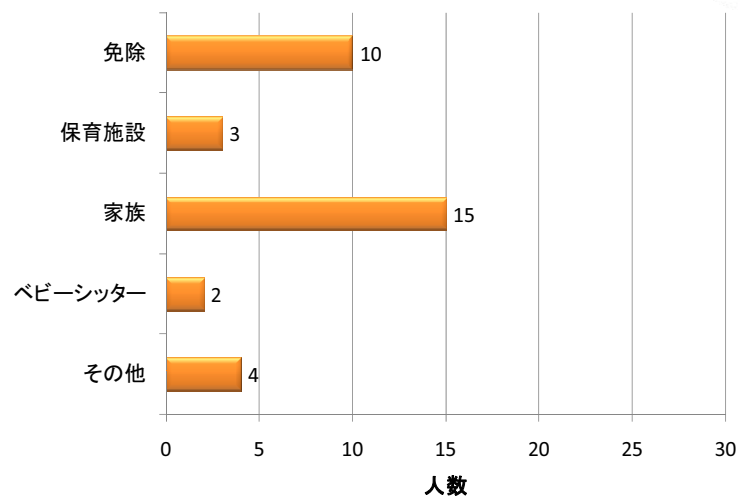


当直・休日出勤の対応

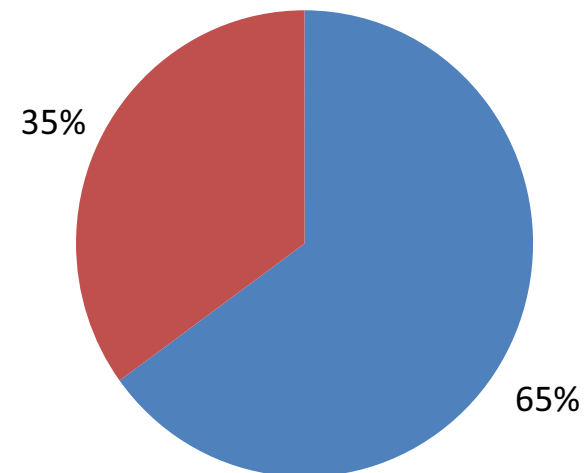
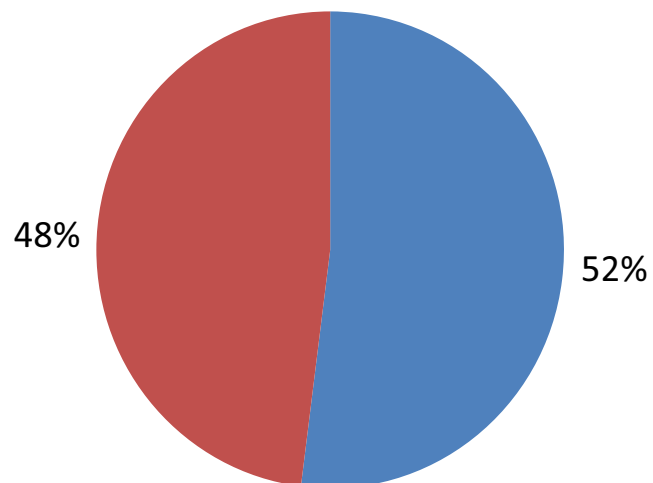
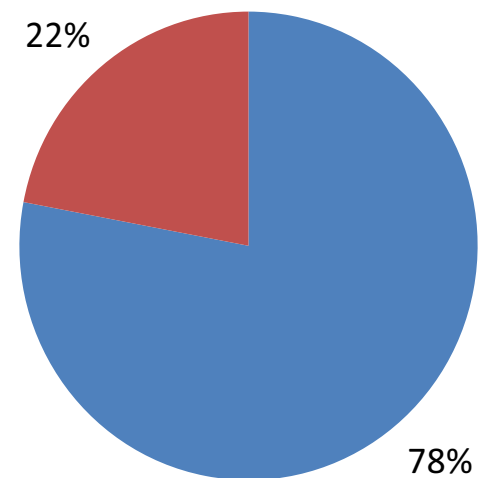
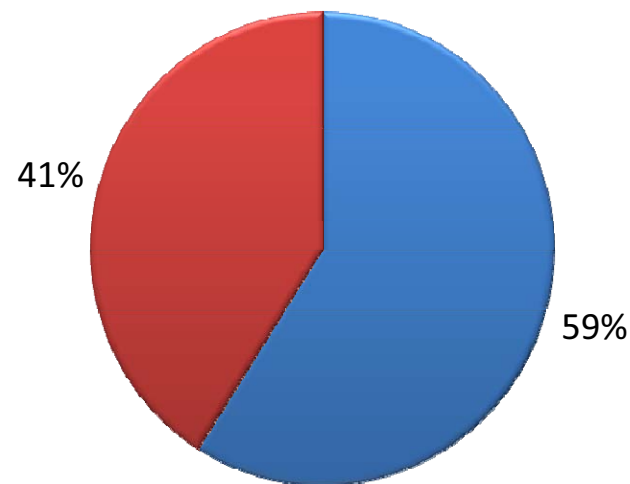


全体 24～30歳

31～35歳 36歳以上

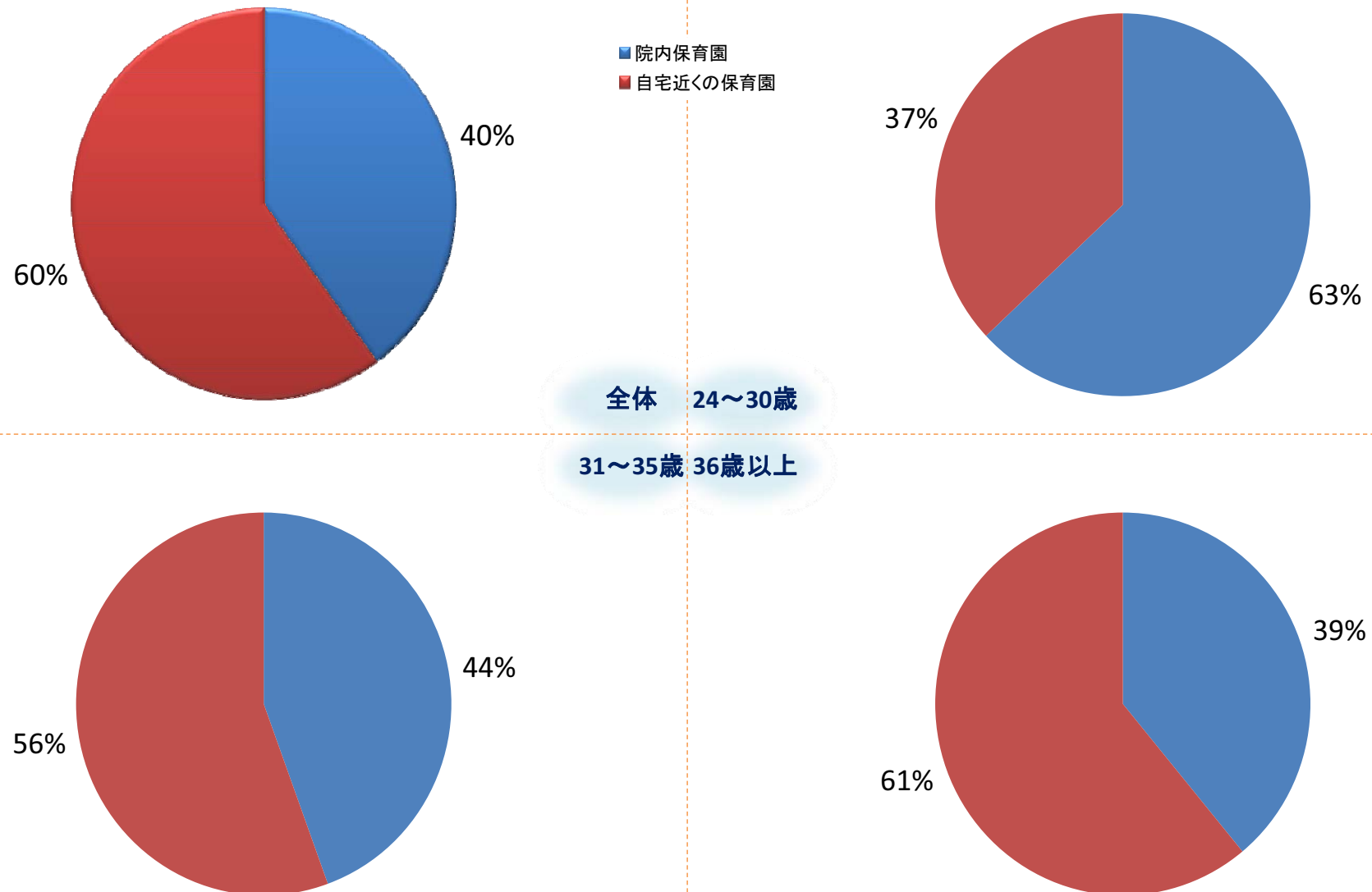


院内保育園があれば預けますか

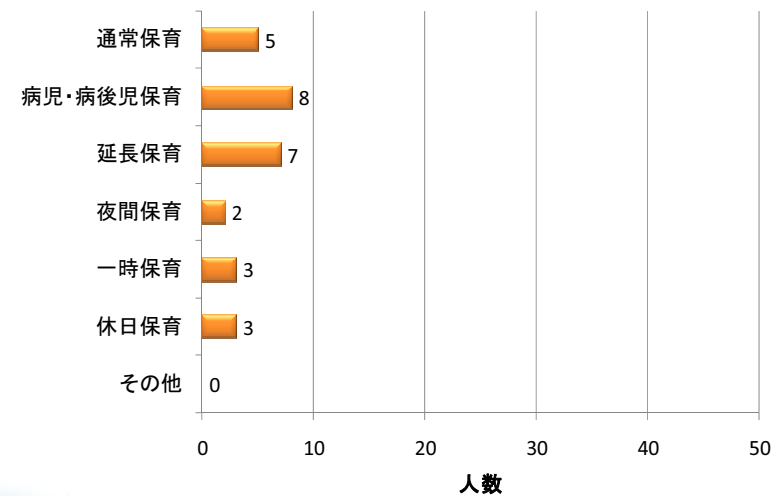
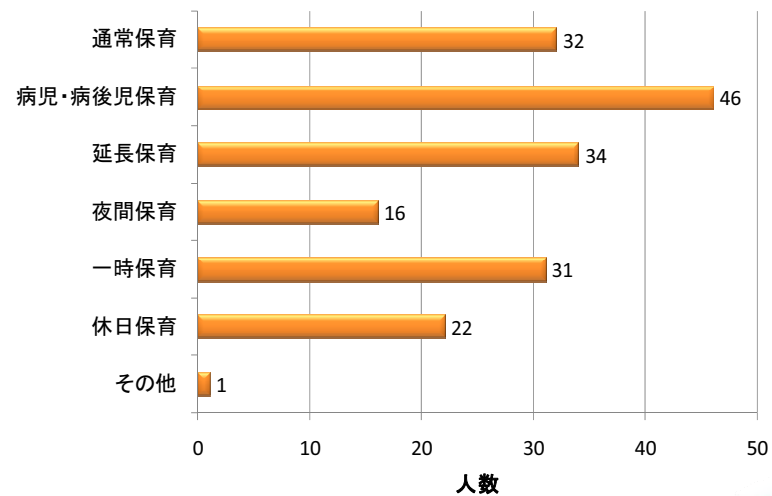


全体 24～30歳
31～35歳 36歳以上

院内保育園と自宅近くの保育園の どちらを選びますか

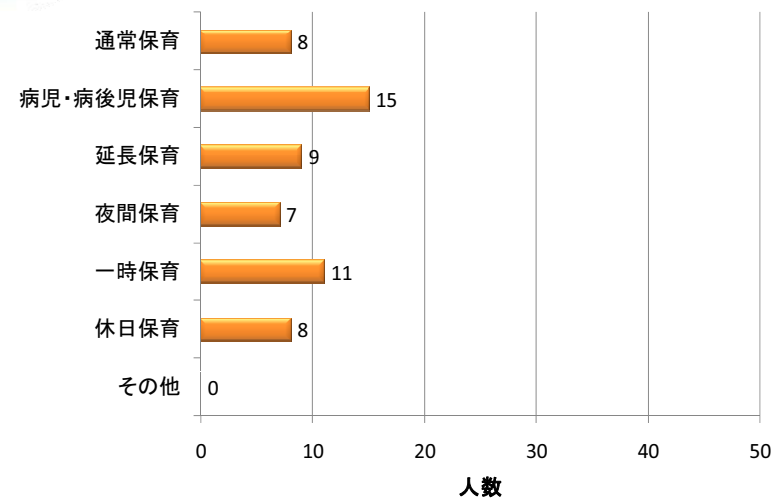
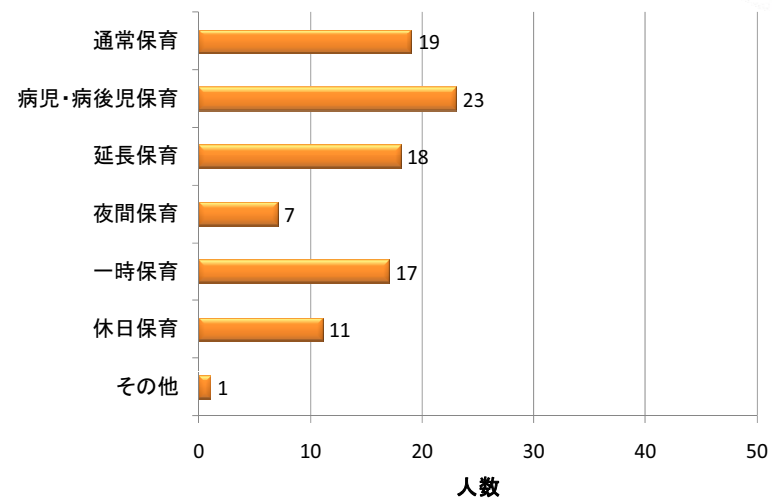


院内保育に希望するもの(複数回答)

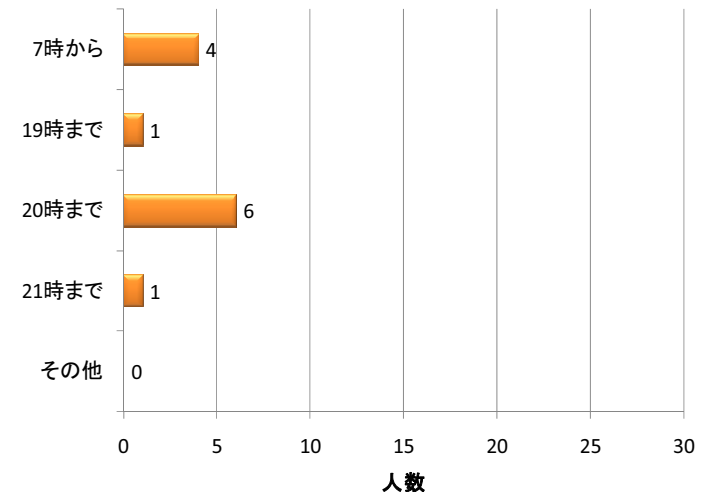
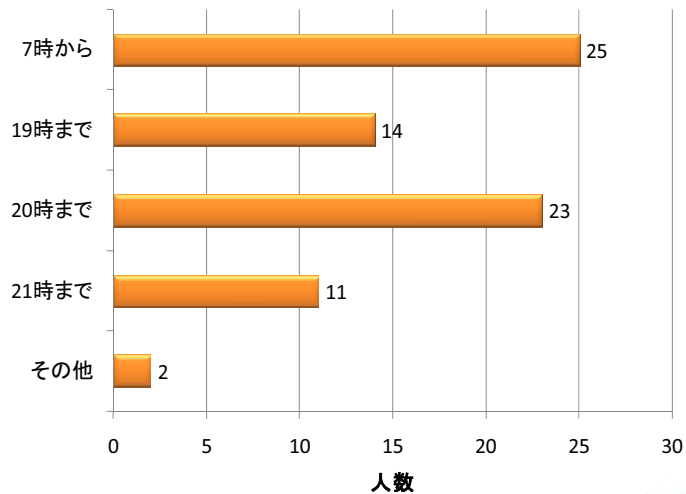


全体 24～30歳

31～35歳 36歳以上

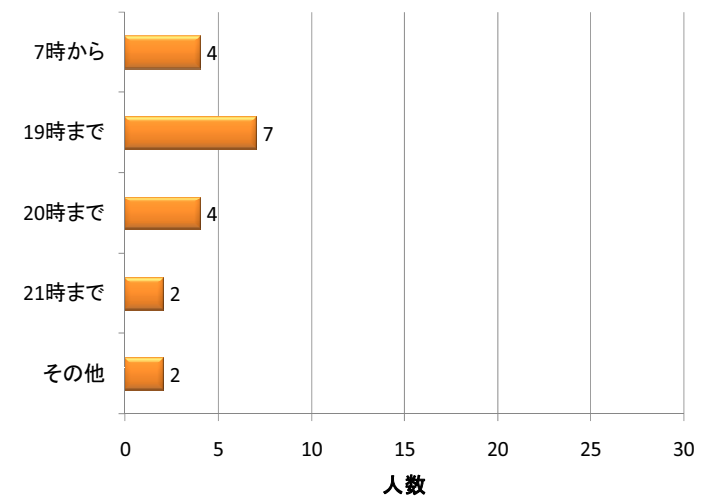
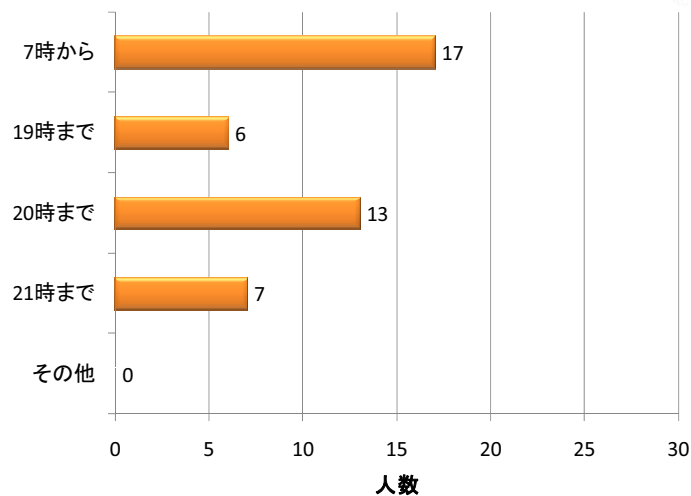


早朝・延長保育の希望

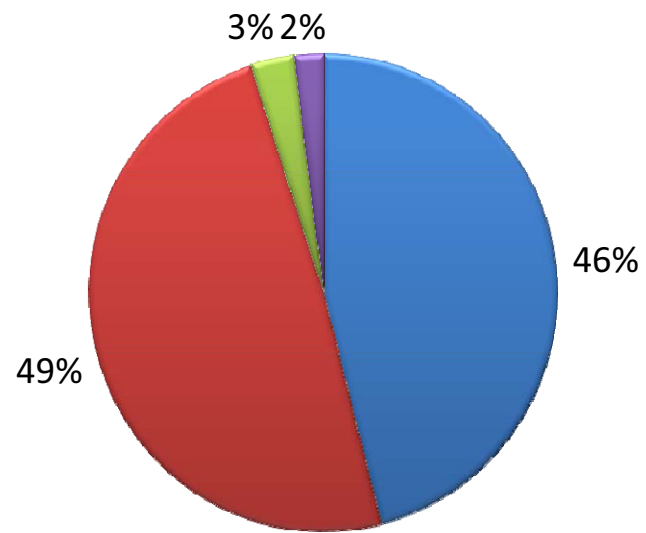


全体 24～30歳

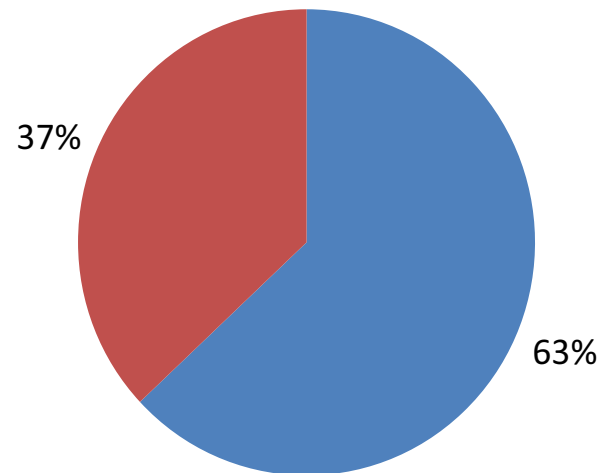
31～35歳 36歳以上



月額保育料の希望

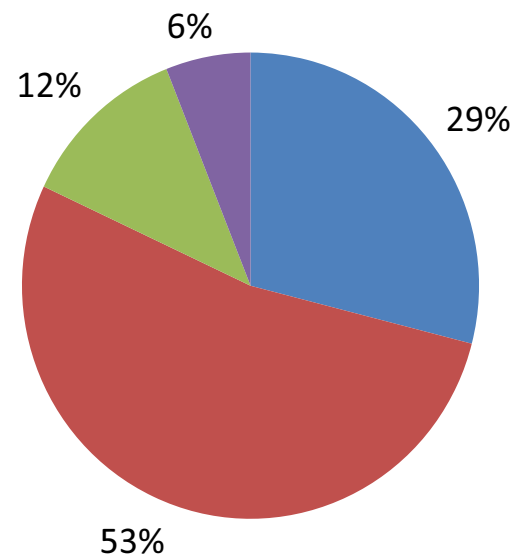
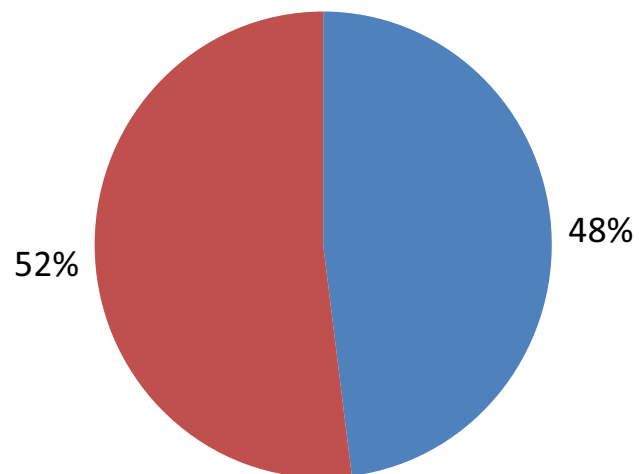


5万円
10万円
15万円
20万円



全体 24～30歳

31～35歳 36歳以上



まとめ(1) 対象と方法

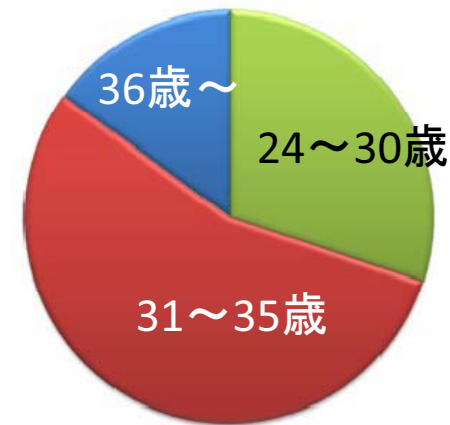
慶應義塾大学医学部在籍の
未就学児育児中及び妊娠中の女性医師(107名)
無記名方式のアンケートを2009年6月に実施
回答者数 55名(回答率51%)

24～30歳:8名

31～35歳:30名

36歳～:17名

約半数が関連病院勤務中



まとめ(2) 結果-保育の場所(複数回答)

通常時	保育施設	68%
病気時	保育施設	4%
	親・知人	72%
	欠勤・早退	47%
当直・休日出勤時		
	保育施設	13%
	家族	47%
	免除	38%



院内保育所の設置希望者 過半数
入所可能なら利便性より自宅近くを過半数が選択

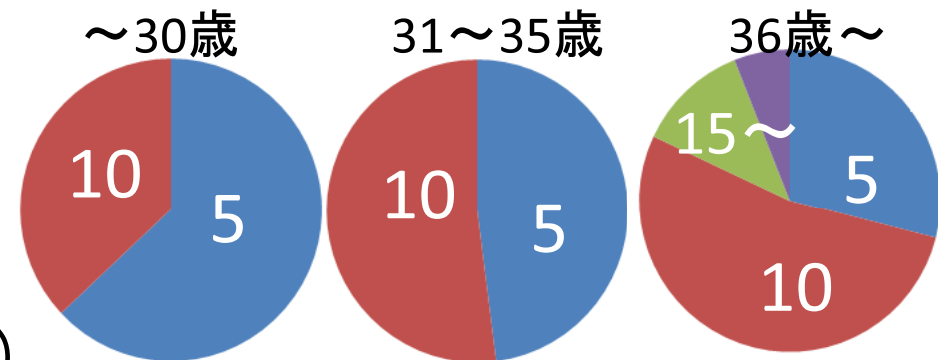
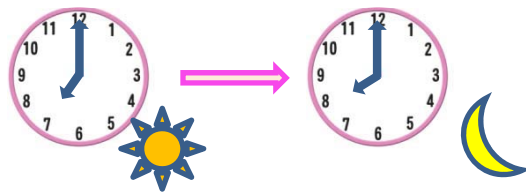
まとめ(3) 結果-希望の保育(複数回答)

対応時間 7時～20時

保育料(単位 万円)



年代の経済状況を反映？



保育内容(希望の多い順)

病児・病後児 > 延長保育 > 通常保育 > 一時保育
(84%) (61%) (58%) (56%)

院内保育の需要は
病児・病後児保育が極めて高い